

## 休眠預金等活用審議会専門委員 略歴

おがわ こうじ  
主査 小河 光治

公益財団法人あすのば代表理事



- 平成元年 明治大学農学部卒業  
「災害遺児の高校進学をすすめる会（あしなが育英会の前身団体）」
- 平成 27 年 あしなが育英会を退職  
福島大学大学院地域政策科学研究科修了  
子どもの貧困対策センター「一般財団法人あすのば」設立代表理事
- 平成 28 年 「公益財団法人あすのば」代表理事

昭和 40 年、愛知県小牧市生まれ。交通事故で父を亡くし、交通遺児育英会と日本育英会の奨学金で進学。明治大学卒業後、あしなが育英会に専従。神戸レインボーハウス館長、奨学課長、調査担当、子どもの貧困担当などを歴任し、平成 27 年 3 月に 26 年間勤務したあしなが育英会を退職。福島大学大学院地域政策科学研究科修了。同年 6 月、子どもの貧困対策センター「一般財団法人あすのば」を設立し、代表理事に就任。平成 28 年 4 月「公益財団法人あすのば」に移行。社会福祉法人「滋賀県社会福祉協議会」理事(令和元年～)。内閣府「子どもの貧困対策に関する検討会」構成員（平成 26 年）。文部科学省「高校生等への修学支援に関する協力者会議」委員（平成 29 年～）。

### 【政府の審議会等】

- ・内閣府「子どもの貧困対策に関する検討会」構成員（平成 26 年）
- ・文部科学省「高校生等への修学支援に関する協力者会議」委員（平成 29 年～）

## 休眠預金等活用審議会専門委員 略歴

主査代理 そねはら ひさし  
曾根原 久司

特定非営利活動法人えがおつなげて代表理事



- 昭和 60 年 明治大学政治経済学部経済学科卒業
- 平成 3 年 株式会社ベンチャーリンク入社
- 平成 6 年 株式会社グローバルオープンシステム代表取締役
- 平成 13 年 特定非営利活動法人えがおつなげて代表理事

長野県飯田市出身。明治大学卒業後、金融機関等の経営コンサルタント等を経て、東京から山梨の農村地域へ移住。2001年NPO法人えがおつなげてを設立。耕作放棄地や森林資源といった農村資源の活用を、三菱地所グループなど多数の企業との連携で行うことによって、農村の活性化に取り組んでいる。現在は、山梨のみならず、全国の農村地域の活性化の支援や人材育成を、総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師等として取り組んでいる。また平成26年、世界をリードするソーシャル・アントレプレナーとして、アショカフェローに選出される。

### 【政府の審議会等】

- ・総務省地域力創造アドバイザー
- ・内閣府地域活性化伝道師

表彰 日経ソーシャルイニシアチブ大賞 大賞受賞（H26年度）/日本経済新聞社  
日本農業賞「食の架け橋の部」大賞受賞（H25年度）日本放送協会・全国  
農業協同組合中央会・都道府県農業協同組合中央会 など多数

著書 『日本の田舎は宝の山』（日本経済新聞出版社）  
『農村起業家になる―地域資源を宝に変える6つの鉄則―』（日本経済新聞出版社）

## 休眠預金等活用審議会専門委員 略歴

えぐち やちよ  
江口 八千代



認定特定非営利活動法人ファミリーハウス理事長

- 昭和 50 年 国立東静病院附属看護学校卒業  
国立小児病院就職  
国立佐倉病院、国立がんセンター、西甲府病院、国立国際医療センター、下志津病院等で勤務
- 平成 3 年 ファミリーハウス活動開始
- 平成 19 年 認定 NPO 法人ファミリーハウス理事長
- 平成 26 年 3 月 国立病院機構相模原病院看護部長退職
- 平成 27 年 瑞宝双光章受賞

### ファミリーハウス活動

昭和 63 年～平成 13 年 国立がんセンター中央病院小児病棟看護師長として勤務。  
平成 3 年～ がんセンター小児科の親と医療者、理解のある市民とともにハウス設立活動を始めた。平成 5 年 日本で最初の専用施設「かんがる一の家」を運営。  
平成 11 年～ ファミリーハウスが事務局を担い、全国で滞在施設を運営している 団体が集まり JHHH ネットワーク会議を毎年開催し情報交換と質の向上を図っている。  
平成 19 年～ 認定 NPO 法人ファミリーハウス理事長就任し現在に至る。

## 休眠預金等活用審議会専門委員 略歴

くりばやし ち え こ  
栗林 知 絵子

特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長  
民生委員・児童委員



昭和 62 年 国立長岡工業高等専門学校工業化学科卒業  
株式会社和光純薬工業入社、  
平成 7 年 株式会社和光純薬工業退社、  
平成 19 年 株式会社リスダンケミカル入社  
平成 27 年 株式会社リスダンケミカル退社、  
平成 28 年 特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク代表理事

平成 16 年より池袋本町プレーパークの運営に携わり地域活動始める。自他共に認める「おせっかいおばさん」である。

地域の子どもの地域で見守り育てるために、プレーパーク、無料学習支援、子ども食堂など、子どもの居場所を点在化して、子どもと家庭を伴走的に支援している。

平成 27 年度 「あしたのまち・くらしづくり活動」内閣官房長官賞受賞 平成 27 年度  
東京都女性活躍推進大賞を受賞

著書:「子ども食堂をつくろう！一人がつながる地域の居場所づくりー」(平成 28 年、  
明石書店)

## 休眠預金等活用審議会専門委員 略歴

しらいし ともや  
白石 智哉

フロネシス・パートナーズ（株）代表取締役



1986年 一橋大学法学部 卒業

2000年 （株）ジャフコ 事業投資本部 本部長就任

2005年 ペルミラ・アドバイザーズ（株）代表取締役就任

2012年 （一社）ソーシャル・インベストメント・パートナーズ 代表理事就任（現在は理事）

2014年 フロネシス・パートナーズ（株） 代表取締役就任（現任）

2021年 セントケア・ホールディング（株） 社外取締役就任（現任）

委員 GSG (Global Steering Group) for Impact Investment国内諮問委員

1980年代より米国シリコンバレーやアジア各国で10年間以上ベンチャー投資の経験を積んだ。1998年に日本で初めてプライベート・エクイティ（PE）投資を開始、その後欧州系PE投資会社であるペルミラの日本代表を務めた。2014年にフロネシス・パートナーズ（株）の代表となり現在に至る。

企業投資や経営の経験を活かして、2012年にベンチャー・フィランソロピー組織であるソーシャル・インベストメント・パートナーズを設立し社会的事業への投資・助成事業を行なってきた。インパクト投資の国際機関であるGSGインパクト投資国内諮問委員を務める。

## 休眠預金等活用審議会専門委員 略歴

たまだ  
玉田 さとみ

学校法人明晴学園理事



学歴：

昭和 59 年 日本女子体育大学 卒業

経歴：

(主な経歴)

昭和 59 年 4 月 (株) タムコ 入社 TBS 情報キャスター

昭和 60 年 1 月 (株) テレコムサウンズ入社 中継番組ディレクター

昭和 62 年 4 月 フリーランス 放送作家 (ペンネーム) 現職

(その他 主な活動歴)

平成 12 年 8 月 全国ろう児をもつ親の会設立 副会長 (現任)

平成 15 年 4 月 特定非営利活動法人

バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター 設立

平成 16 年 4 月 特定非営利活動法人

おおた市民活動推進機構 設立 代表理事

平成 19 年 12 月 学校法人明晴学園 設立 理事 (現任)

特定非営利活動法人

バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター

事業統括ディレクター (現任)

平成 22 年 3 月 合同会社VALN 設立 代表社員

## 休眠預金等活用審議会専門委員 略歴

みやけ みねさぶろう  
三宅 峰 三郎

公益財団法人 キューピーみらいたまご財団 前理事長



### 学歴：

昭和51年 3月 上智大学理工学部 卒業

### 経歴：

#### (主な経歴)

昭和51年 4月 キューピー株式会社 入社

平成8年 9月 同社 横浜支店長

平成14年 7月 同社 家庭用営業本部長

平成15年 2月 同社 取締役

平成22年 2月 同社 常務取締役

平成23年 2月 同社 代表取締役社長

株式会社中島董商店 取締役

平成29年 12月 同社 相談役 (平成30年2月退任)

株式会社中島董商店 取締役会長 (令和3年2月退任)

#### (その他主な役職)

平成29年 4月 一般財団法人キューピーみらいたまご財団 理事長

(現 公益財団法人キューピーみらいたまご財団)

(令和3年5月退任)

平成29年 6月 食品産業中央協議会 顧問 (令和3年10月退任)

平成29年 12月 富士製薬工業株式会社 社外取締役 (現任)

平成30年 6月 亀田製菓株式会社 社外取締役 (現任)

平成30年 6月 株式会社オートバックスセブン 社外取締役

令和元年 6月 株式会社オートバックスセブン 社外取締役 (監査等委員) (現任)

令和 2年 12月 株式会社スシログローバルホールディングス 社外取締役

(現 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES) (現任)